

～移動販売車による大阪産水産物の消費拡大～
大阪府漁業協同組合連合会（大阪府岸和田市）

目詰まりの現状

大阪湾は、高度経済成長期による埋め立てや工場排水等の影響で、水質悪化や底質悪化等の深刻な問題が引き起こされた。これにより漁業環境も大きく変化したが、現在は大阪湾の再生に向けた動きにより改善し、タコやアナゴ等の豊富な水産物が水揚げされるようになってきている。

一方、大阪は大消費地であり、全国各地から多様な水産物が集荷・消費されているものの、大阪湾で漁獲されるような小ロットの水産物は認知度や評価が低いため、東京や金沢など大阪府外に出荷せざるを得ない。

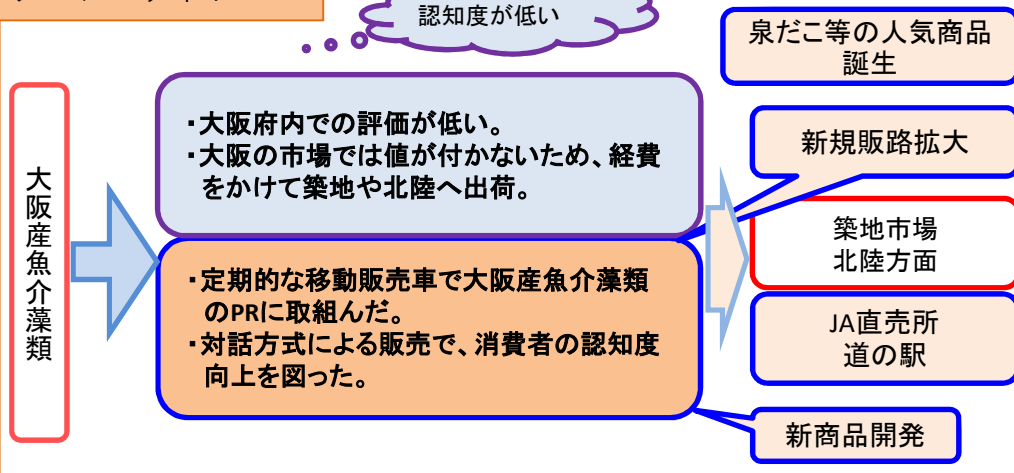
プロジェクトの概要

- ・ 移動販売車を導入し、大阪産魚介藻類の総合的なPRを行い、認知度向上と消費量拡大を図る。
- ・ 府内各地域の道の駅やJA農産物直売所等を巡回し、高鮮度の漁獲物を消費者に対し、効率的に販売。
- ・ 対話形式による販売により、調理方法や旬の情報を消費者に直接伝え、大阪産魚介藻類の味や安全性を理解してもらい、消費拡大を図る。

取組による成果

- ・ 定期的な移動販売及び対面販売により、大阪産水産物の認知度が向上。泉だこ等の人気商品がアップ。
- ・ 「タココロッケ」「ちりめんコロッケ」「タチウオの唐揚げ」等の新商品を開発し、消費者から好評。
- ・ 対面販売により、職員の消費者ニーズに対する理解や衛生管理に関する能力が向上。

プロジェクトフロー



移動販売車



移動販売車



販売商品



泉だこ



(平成30年3月現在)